

株式会社 MARUKU

設立：2017年7月

所在地：上益城郡山都町

事業内容：Web制作・開発
コンサルティングなど

従業員数：20名

令和2年10月現在

働き方の自由度を上げ、コミュニケーション
を重視しながらテレワークを実施



テレワーク導入目的

IT企業であり、営業、経理などクラウドで管理ができるため、創業当初からテレワークを実施していたが、基本はオフィスに出勤であった。令和元年から、働き方の自由度を上げるため本格的にテレワークを実施している。

テレワーク形態

- <対象者> 営業部、クリエイティブ業務部はリモート対応。
八代オフィス（バックオフィス業務）は取引先が紙ベースのため、オンライン化できずテレワークをしていない。
- <作業場所> 自宅、コワーキングスペース。
- <頻度> コロナの影響で、本社は週1回のテレワーク。
東京オフィスは週1回の出勤以外はテレワーク。
コミュニケーション重視のため、対面での業務を残している。
- <形態> テレワークをしたい場合に、チャットにて申請。
- <勤怠管理> クラウドツールを導入し、勤怠管理をしている。

導入にあたっての課題や不安をどう克服したか。

課題や不安	克服方法
○ 労働者からの不安な声	環境面を不安視する声はあったが、賛成が多かった。 対面は必要という認識は共通である。

実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題や手続き	克服方法
<ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインが苦手な取引先への対応は 	<p>電話、メール、対面での対応をしている。コロナをきっかけにオンラインをやってみるという取引先もあり、ZOOMなどの使用方法を教えながら対応している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種手当の取り扱い 	<p>通勤手当は実費支給。テレワーク手当は支給していない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用機器 	<p>会社支給のパソコンを使用。自宅 Wi-Fi を使用。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの取り方 	<p>クリエイティブな仕事であるため、アイデアが雑談やランチタイムから生まれるものがある。また、社員と共通認識でいるためにもコミュニケーションは重要である。そのため、全面テレワークも可能であるが、あえて対面での業務を残している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務評価 	<p>基本的に成果主義である。実務での評価以外に社員のやりたいことなどを把握するため面談を実施し、フィードバックを行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間外労働 	<p>基本的に時間外労働はない。ある場合は事前申請に対して許可制としている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ セキュリティ対策 	<p>取扱注意のデータは外部サーバーにパスワードをかけて管理している。よってパソコン本体からの流出はない。</p>

実施後のメリット

- 業務効率化が出来ており、生産性が上がった。
 - オンライン打ち合わせが出来ることで、時短となり、受注件数が増えた。
 - 社員の働き方の自由度が上がった。
 - 社会的に国民のITへの関心度が上がり、マーケットが広がった。
- ビジネスチャンスにも繋がっている。

